

医師のコラム

脊椎圧迫骨折について

朝霞台中央総合病院
整形外科医師 梅香路 英正

はじめに

「脊椎圧迫骨折」とは、背骨(脊椎)が、押しつぶされるように変形してしまう骨折です。

主な原因は「骨粗鬆症」です。

骨粗鬆症になると、骨がもろくなるため、体の重みを支え切れずに背骨が潰れてしまうことがあります。

どんなときにおこるの？

骨粗鬆症になると、尻もち、くしゃみをした、不用意に重いものを持ち上げたりといった、ちょっとしたきっかけで背骨が潰れることがあります。

脊椎圧迫骨折の症状

患者さんの中には痛みを感じない人が多くいますが、約30%の人は、骨折時に背中や腰に激しい痛みを感じると言われています。

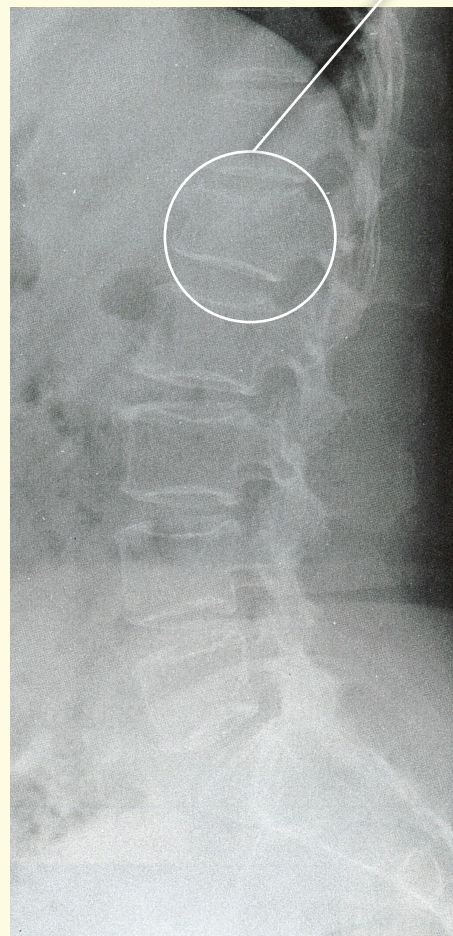
痛みは、安静にしていると改善することがありますが、それだけでは潰れた背骨はもとの形には戻りません。

つぶれた背骨をそのまま放置していくと背骨全体のバランスがくずれその他の背骨にかかる負担が大きくなり背骨が一つ骨折すると約40%の人が、その後1年以内に別の背骨が骨折するといわれています。

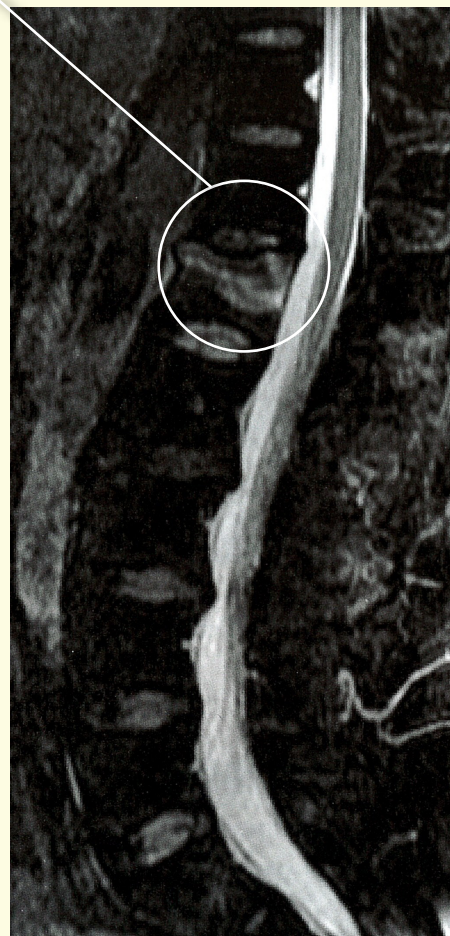
脊椎圧迫骨折が及ぼす影響

脊椎圧迫骨折は、身体にも日常生活にもさまざまな影響を及ぼします。一般的に脊椎圧迫骨折を起こして背中が丸くなると、胸を圧迫するため、肺活量が減少し身体全体の機能が低下します。また胃も圧迫されるために食欲がなくなります。痛みのために良く眠れない日々が続くと、気分が落ち込み日常生活における活動量も減ります。そうすると骨はさらに弱くなり骨密度はより低下し、次の骨折が発生しやすくなります。最終的に「寝たきり」の生活になる危険性が高まります。

骨折している部分



(レントゲン)



(MRI)

脊椎圧迫骨折の治療法

● 保存的療法

コルセットやギブスを装着しベッドの上で安静を保ちます。また、痛み止めや骨粗鬆症の薬を使用します。

● 外科的療法

手術によって骨を移植し、金属製のネジや棒で固定します。

新しい治療法について

Balloon Kyphoplasty(略してBKP)は1990年代にアメリカで開発された新しい治療法です。この治療法は世界で80万件以上の脊椎圧迫骨折に対して行われています。

日本でも安全性と有効性が確認され2010年2月に厚生労働省の承認を得ました。

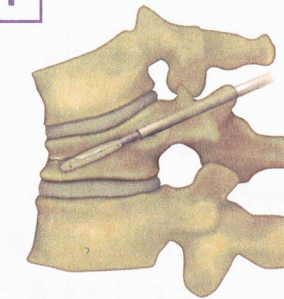
どんな治療法ですか？

脊椎圧迫骨折によって潰れてしまった背骨を骨折前の形に近づけ、椎体を安定させ、痛みを和らげる治療法です。この治療法には、バルーン(風船)状の手術器具や医療用の充填剤(骨セメント)を使用します。

手術方法

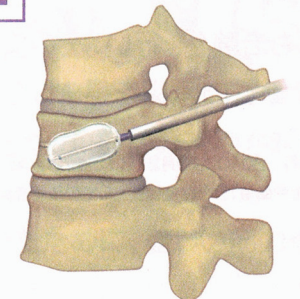
手術は全身麻酔をしておこないます。この治療法の特徴は、短時間の手術(約40分ぐらい)で早期に痛みの軽減が行えること、そのため1週間程度で自宅へ退院が可能なおことです。具体的には、ベッドにうつ伏せに寝た状態で背中を2か所(約1cm)切開し、レントゲンの透視装置を使用し行います。

1



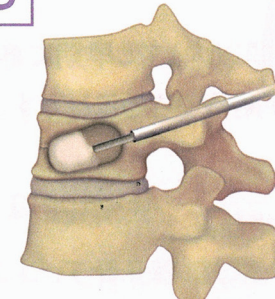
背中から針を刺入し、骨折した椎体への細い経路を作ります。そこへ小さな風船のついた器具を入れます。

2



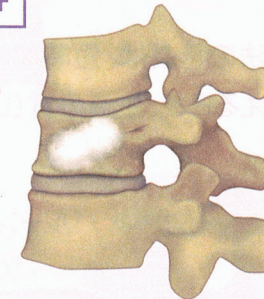
椎体の中に入れた風船を徐々に膨らませ、つぶれた骨を持ち上げて、できるだけ骨折前の形に戻します。

3

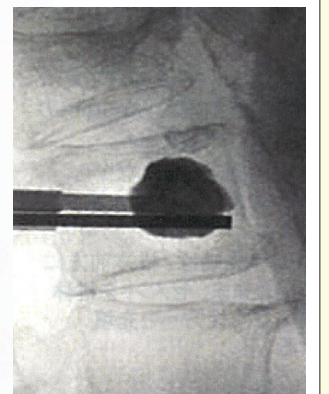


風船を抜くと、椎体内に空間ができます。その空間を満たすように、骨セメントを充填します。

4



手術は1時間程度で終わり、骨セメントは手術中に固まります。



実際の写真

※イラストはイメージです。